

令和3年1月7日

緊急事態宣言を受けての市長コメント

本日、国から新型コロナウイルス感染症に関して「緊急事態宣言」が発出され、神奈川県より特措法に基づく実施方針が示されました。

今回の緊急事態宣言については、医療現場のひっ迫を解消し、市民の健康と安全を守るための措置であると理解しております。

現時点（1月7日現在）で、市内病院には120名を超えるコロナ陽性患者が入院されており、陽性者病床として市内で確保している180床を順次稼働させながら受入れを進めておりますが、これ以上受入病床を増やすことは、コロナ以外の救急医療等に影響を及ぼすこととなります。

このような危機的状況を解消するためには、感染者を増やさない取組を徹底するほかありません。

長引くコロナ禍の中、医療従事者の疲労もピークに達しており、市民の皆様が感染対策に努めていただくことが、医療従事者への大きなエールとなります。そのような人への思いやりがウイルスから自分を守ることに繋がります。

感染拡大防止の取組に御協力いただくことは、他人事ではなく、明日の皆様の健康と安全を守るため必要なものであることを改めて御理解いただき、皆様の行動により、多くの命を救い、この危機的な状況を解消できるよう、取り組んでいただくことを、お願い申し上げます。

川崎市長 福田紀彦